

## 製造現場悲鳴

### 自動車販売27%減、減産190万台

日本自動車販売協会連合会の発表によれば、新車の販売台数(軽自動車を除く)は4ヶ月連続の減少を続けており、この11月は前年同月比27.3%減で39年ぶりの低水準となった。一方、国内大手12社の世界全体での減産は190万台に及ぶ規模となり、減産に伴い非正規従業員の削減数も14,000人以上に上っている。こうした影響は、我々中子業界にも深刻な影を落としており、「生産量が半分以下になった」「人材を確保しきれない」「工場が半日止まっている」等々、各地から会員の悲鳴が事務局に届いています。在庫調整がいつまで続くのが景気回復の焦点となりそうな気配です。

### 雇用調整助成金

生産量が対前年同期比で10%減、雇用量が増加していない等の条件化で、休業や短時間休業を行うことに対して助成金が用意されています。最寄りのハローワークへお問い合わせ下さい。

### 労働者派遣法の2009年問題

2009年3月時点で3年間の雇用になる派遣労働者は居ませんか。3年の派遣期間の満了を過ぎると違法となります。派遣労働者の洗い直しと適正化に留意して下さい。厚生労働省の見解は下記を参照して下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/09/dl/h0926-6c.pdf>

## 第15回の定時総会開催 工場見学会開催

去る10月24日(金)に今年度は新潟県にて開催いたしました。総会に先立ち会員企業である燕シェルサービス(株)さん親会社である(株)ファンドリーさん、「AIRMAN エアマン」のブランドでお馴染みの我々の仕事と関係の深いコンプレッサーメーカーである北越工業(株)さんを見学させていただきました。

少量多品種の品物やスタック方式の小物鑄物鑄造、シェルマシンの原点であるダンプ式のシェルマシン、自硬性やシェル中子との組合せによる中大物鑄造などを見学させていただきました。総会におきましては、全ての議事が全会一致で承認され新年度に向け活動のスタートを切ることとなりました。(社)日本鑄造協会の角田専務理事からは来賓のご挨拶と特定業種指定に対しての経過報告を頂きました。有意義な一日を過ごすことが出来ました。詳細は下記の通りです。



総会で挨拶する太田会長



工場見学会の様子

## 「2298 鑄型製造業(中子を含む)」特定業種指定



祝辞を述べられる角田専務理事

平成20年10月31日に始まった新しい保証制度「原材料価格高騰対応等緊急保証」において、原油・原材料価格の高騰や仕入価格の高騰の影響を強く受けている545業種の中に、「2298 鑄型製造業(中子を含む)」が指定されました。経済産業省の施策において、我々の業種が特定業種として指定されたということは、我々の業種の認知度をあげるといふこの会の活動目的のひとつが成果に結びついたということではないでしょうか。なお、この補償制度は、現行制度の抜本的な拡充・見直しを行ったもので、民間金融機関からの融資を受ける際には一般保証とは別枠で信用保証協会から100%保証を受けることができるというものです。

『バリ取り砥石・ホットメルト接着剤・グルーガンなどを扱っています』詳しい資料または問合せ先は下記へ

株式会社 松下工業

TEL 0538-66-2222

FAX 0538-66-5909 担当 水島まで



情報をお寄せ下さい。

会員の皆様のご意見・ご希望をお待ちしています。

日々刻々と変わりゆく不況情報。惑わされることなく、正確な情報に適切な対応が必要です。

事務局

去る11月13日(木)~14日(金)、広島において(社)日本鑄造協会の秋期大会が開催されました。当会会員からの参加報告をします。

### (社)日本鑄造協会秋期大会参加報告

アメリカ発金融危機による世界経済の大きな変化のため、予定していた講演会のプログラムを変更して「当面の主要業界の動向について」と題し、自動車・工作機械・建設機械・非鉄・主要原材料など各界の動向について話がありました。その中で、「自動車業界の動向について」のお話しは、今後の販売・生産・設備の計画がまったく立たず、来年以降の世界市場は最悪のシナリオを予想せざるを得ない状況になっている。このような中で経営者は、「大きな覚悟をする必要」があり、販売量の落ち込みや原材料高を考えた資金繰りの中での資金調達を迫られるため、今まで以上に情報収集力を高め、こうした時にこそ「自社の前後の工程を取り込む事業展開を積極的に考えることも大切である」とのことでした。これは話された講演の一部ですが、その後日々伝えられる経済情報はご存じの如く、さらに重苦しさを増しています。

松下専務理事

### 「2層式シェル中子製造マシン」

当会会員企業である案納商店の関連企業(有)ウィンズテックにおいて、「2層式シェル中子製造マシン」の共同開発が進んでいます。特徴は、1回目のA砂のブロー後、反転排砂し、その空間にB砂を2回目のブローできる。強度及び粒度の異なる砂もしくは別物を再充填することにより、内側と外側と異なる特性を持つ中子を成形できる。



2層式シェル中子製造マシン

### ●会社案内●

[社名] (有)ウィンズテック [資本金] 300万円

[創立] 2004年6月9日 [代表者] 代表取締役 案納邦博

[業務] 鑄造全般の諸資材の販売、シェルマシンの共同設計/開発(2層式特殊マシン)、シェル中子の製造/販売、各種鑄造品の斡旋/販売等、鑄造に関する全ての業務

### 元気な会員企業

#### ◆経営革新計画認定企業……景山産業(有) <岡山県>

鑄物中子専門メーカーとしての優位性を確立すべく、水平型成型法を新たに導入。オンリーワン企業へと躍進をはかる。

#### ◆エコステージ認証取得……榊原工業(株) <愛知県>

「太陽光発電新技術等フィールドテスト事業」を独立行政法人新エネルギー産業技術開発機構(NEDO)へ提案し採決される。今後より一層「環境」を重視したシステムの進化、更にCSRの実現をも目指す。

#### ◆元気なモノ作り中小企業300社……クロタ精工(株) <愛知県>

「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に経済産業省より2008年選定されました。普段は目にふれにくいものの重要な役割を果たしているモノ作り中小企業の姿を、広く国民に対して分かりやすく示すことによりやる気を一層引き出すとともに、若年層を中心にモノ作り分野に対する関心を持つきっかけとなることを願い選定されました。

### 業界かいわい

・「下請かけこみ寺」の相談受付が業務を開始しています。参考ホームページ

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/080324kakekomi.htm>

・下請け取引の適正化

経済産業大臣及び公正取引委員会委員長より下請け業者への配慮として「振興基準」の周知徹底を図る要請がありました。

《その他》

最低賃金が改定されています。平成20年7月1日から最低賃金が改定されています。地域別・業種別の最低賃金をチェックしておきましょう。